

# 平成21年度 第8回 広島市立広島市民病院治験審査委員会議事録 概要

開催日時：平成21年12月15日(火) 17時30分～18時00分

開催場所：広島市立広島市民病院 管理棟2階 会議室

出席委員名：伊豫田邦昭、二宮基樹、檜垣健二、石原正治、河島昌典、山本京子、志和資朗、河野守正、榎野晋也、矢上晴久、友田泰樹

承認番号	治験依頼者	治験課題名	治験段階	審議事項	審議内容	審議結果
2007-2	ゲラク・スミスクライン(株)	健康乳幼児を対象としたRV5070の第 相試験		報告	・当院での治験終了を報告した。	
2007-9	科研製薬(株)	KP-102LNの成長ホルモン分泌不全性低身長症を対象とした長期(継続)投与試験 - 長期投与時の成長促進効果及び安全性の検討 -		治験の継続審議	・治験薬概要書の改訂に基づき、引き続き治験を継続する事の妥当性について審議した。	承認
2008-2	田辺三菱製薬(株)	関節リウマチを対象としたCNT0148(Golimumab)の第 / 相試験-1	/	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2008-3	田辺三菱製薬(株)	関節リウマチを対象としたCNT0148(Golimumab)の第 / 相試験-2	/	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2008-6	ファイザー(株)	他の抗てんかん薬で十分な効果が認められない部分発作を有する小児てんかん患者にガバペンチンを併用投与した際の有効性、安全性及び薬物動態を評価する多施設共同、非盲検試験		治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2008-7	ファイザー(株)	A9451162試験の治療期を終了した小児てんかん患者を対象にガバペンチンを52週間長期投与した際の安全性と有効性を評価する多施設共同、非盲検試験		治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

承認番号	治験依頼者	治験課題名	治験段階	審議事項	審議内容	審議結果
2008-8	中外製薬(株)	オクレリズマブの関節リウマチを対象とした用量反応性試験		治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施計画書別紙、同意説明文書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2008-14	日本ケミカルサーチ(株)	低身長に対するJR-401の第 相臨床試験		治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2008-15	ハルティスファーマ(株)	非小細胞肺癌(NSCLC)患者を対象としたASA404第 相試験		治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2009-1	ファイザー(株)	BMS-562247の後期第 相試験		治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2009-2	オンセラビ・サイエンス(株)	膵癌患者を対象としたOTS102の第 / 相試験	/	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2009-3	オンセラビ・サイエンス(株)	膵癌患者を対象としたOTS102の第 / 相試験	/	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
				報告	・契約症例数追加について迅速審査で承認されたことを報告した。	
2009-4	アステラス製薬(株)	静脈血栓塞栓症患者を対象としたYM150の第 相試験		治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・有害事象追跡調査用報告書の作成に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

承認番号	治験依頼者	治験課題名	治験段階	審議事項	審議内容	審議結果
2009-5	小野薬品工業(株)	ONO-7847 第 相試験 抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐の予防に対するプラセボを対照とした多施設共同二重盲検無作為化並行群間比較試験		治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2009-6	ワイス(株)	乳癌患者を対象としたHKI-272とラパチニブ、カペシタビン併用比較第 相試験		治験の継続審議	・治験薬概要書 補遺追加に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2009-7	グラクソ・スミスクライン(株)	切除可能なMAGE-A3抗原陽性の非小細胞肺癌患者を対象とした術後補助療法としてのAS15アジュバント添加recMAGE-A3がん免疫療法剤の有効性を評価するための、二重盲検、無作為化、プラセボ対照、第 相臨床試験		治験の継続審議	・同意説明文書、治験薬概要書、治験実施計画書別紙の改訂に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。	承認
2009-8	協和発酵キリン(株)	KRN125の第 相試験		治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認